

インターネットでの情報提供	
提供予定日	6月18日(水)



平成26年6月17日(火) 県政記者クラブ配付資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
岐阜県現代陶芸美術館	学芸部	山口 敦子	0572-28-3100

## フランス・岐阜／地域交流

### 「フランス印象派の陶磁器 1866 - 1886 ジャポニズムの成熟」展を開催します

このたび、岐阜県現代陶芸美術館では、下記のとおり、「フランス印象派の陶磁器 1866 - 1886 ジャポニズムの成熟」展を開催します。

19世紀後半のフランスの印象派時代、伝統的な西洋磁器に浮世絵版画などの図柄を取り入れたジャポニズムを積極的に取り入れた革新的な陶磁器が数多く生み出されました。さらに、陶磁器への印象派絵画の絵付けが導入されるなど、フランスの陶磁器はジャポニズムを媒介として新たな展開を見せました。

本展は、印象派時代の陶磁器を初めて日本で系統的に紹介するものであり、陶磁器産地として有名なフランスのリモージュ地方を代表する製陶所の創設者一族である「アビランド家」の由緒あるコレクションを中心に、陶磁器作品約120点、関連する版画や素描など約30点を展示し、フランスにおけるジャポニズムの豊かな広がりをご紹介します。

- 会期……平成26年7月5日(土)～8月24日(日)
- 会場……岐阜県現代陶芸美術館(多治見市東町4丁目2-5)  
ギャラリーI
- 時間……10:00～18:00(入館は17:30まで)
- 休館日……月曜日(ただし7月21日は開館)、7月22日
- 観覧料……一般 800円(700円)  
大学生 600円(500円)  
高校生以下は無料  
※( )内は20名以上の団体割引料金



《バルボティーヌ 草花燕図水注》  
アビランド社 オートウイユ工房 1876-83年

主催／岐阜県現代陶芸美術館  
共催／中日新聞社  
後援／在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本  
協力／エールフランス航空  
企画協力／アートインプレッション

## □本展の見どころ

19世紀後半のパリは、多くの芸術家が新たな表現を模索した印象派時代とよばれています。第1回印象派展の出品者であり、画家であり版画家でもあるフェリックス・ブラックモンは、1867年のパリ万国博覧会で浮世絵版画などの図柄を施したテーブルウェアを発表し、注目を集めました。フランスのリモージュを代表する製陶所アビラント社の美術監督に就任したブラックモンは、ジャポニズムを積極的に取り入れた革新的な陶磁器を数多く生み出し、さらに、印象派絵画の筆致を思わせる絵付けや、鮮烈な色彩の釉薬を導入するなど、ジャポニズムを媒介として新たな展開を見せました。

本展は、印象派時代の陶磁器を日本で系統的に紹介する初めての機会であり、陶磁器へのジャポニズムの豊かな広がりを感じていただける企画展です。

また、食環境プロデューサーの木村ふみ氏監修による、出品作品を用いたテーブルコーディネートが展覧会場に花を添えます。印象派時代の陶磁器が、実際にテーブルを彩る様子をご覧ください。西洋におけるジャポニズムの受容や当時の食文化を感じていただけます。

## □会期中のイベント

### ■講演会『印象派陶磁器とその周辺』／プロジェクトルーム

福井大学准教授の今井祐子氏を講師にお迎えし、19世紀後半のフランス陶磁器とジャポニズムの関係性についてご講演いただきます。※今井祐子氏は本展図録の仏文和訳を担当されています。

日 時 7月26日(土) 14:00~15:30

講 師 今井祐子氏(福井大学教育地域科学部准教授)

参 加 費 無料 ※事前申込不要

### ■ギャラリートーク／ギャラリーI

毎週日曜日、各日13:30~